

令和8年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特4		学校名	県立常陸太田特別支援学校										学校長名	稲田 勝江			
教頭名	加藤 博美				教頭名	舟生 心					事務(室)長名	黒沢 公一朗						
教職員数	教諭	98	養護教諭	2	常勤講師	8	非常勤講師	4	実習助手	2	寄宿舎指導員	0	事務職員	3	技術職員等	9	計	130
幼児・児童・生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	幼稚部																	
	小学部	5	2	8	4	13	3	8	6	10	4	3	1	47	20	17		
	中学部	15	7	27	5	21	3							63	15	17		
	高等部	19	8	17	8	13	9							49	25	14		
	専攻科																	
													小計	159	60	48		
													合計	219				

2 目指す学校像

- ◆安心して過ごせるあたたかく笑顔あふれる学校
- ◆一人一人の学びを大切にする学校
- ◆家庭や地域とともに歩む学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・各部における緊急時対応訓練やシミュレーション訓練、各種避難訓練等を実施するなどして、教職員の危機管理意識の向上に努めている。 ・学校運営協議会での熟議を踏まえ、OTA ぶどうプロジェクトや社会人講師の活用等、地域と連携した教育活動を推進するとともに、ホームページの更新や新聞掲載など、積極的な情報発信に努めている。 ・行事検討委員会を活用した行事の見直しやclassroomによる情報共有を行い、会議時間の短縮や教材データの共有等を図ることで、授業準備時間の確保に向けた働き方改革を進めている。 ・外部講師を活用した研修を行うほか、classroomを活用したコンプライアンスに係る情報提供や各種セルフチェックシートによる自己点検を定期的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの分析・活用や緊急時対応手順の可視化、実践的訓練の充実等による教職員の危機管理意識のさらなる向上 ・学校運営協議会を生かした連携・協働の一層の充実と児童生徒の主体的な教育活動の機会の拡充 ・勤務時間を意識した業務効率化の一層の推進とICT活用による働き方改革の推進 ・教職員の当事者意識を高め、自分事として捉えるためのコンプライアンス研修の内容・方法の工夫
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「わくわくポイント」をキーワードとして「授業デザインシート」を活用した授業設計を行うとともに、「授業レベルアップシート」を用いた授業改善に努めている。 ・教員のICT活用能力の向上を図るとともに、学習アプリ等の教育環境の整備を進め、児童生徒の学びの充実に努めている。 ・自立活動教員による児童生徒の実態把握や指導方法等の助言、研修会の実施などをおして、自立活動の指導の充実に努めている。 ・体験的な学習の目標を各教科等の目標を踏まえて見直し、検討を進め、授業改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の特質や児童生徒の実態を踏まえた単元計画・教材研究・発問の工夫等を基盤とした授業デザインの一層の充実 ・ICTを活用した教材作成方法等に関する研修の充実による授業力の向上 ・各教科における学習上の困難さの把握を踏まえた自立活動の指導の一層の充実 ・OTA キャリア教育プランの目標や系統性の再確認と、地域と連携した教育活動の一層の充実

4 中期的目標

- 1 児童生徒の安全を確保し、安心して学べる教育環境を推進する。
- 2 一人一人の障害の状態に応じた指導をおして、確かな学力と考える力の育成を図る。
- 3 地域資源を活用し、地域の特色を活かしたキャリア教育を推進する。
- 4 地域の関係機関との連携・協働体制を構築し、地域の特別支援教育の充実に寄与する。
- 5 教職員の専門性の向上を図るとともに、働きやすい職場環境づくりを推進する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 安全・安心な教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校事故等の未然防止と危機管理体制の徹底（整理整頓の習慣化、安全点検の徹底、ヒヤリハットの分析・活用、各種マニュアルの整備と活用） ② 家庭や地域と連携した安全管理 ③ 健康教育と心の教育の充実 ④ 校内の相談・支援体制の強化（早期発見・早期対応、関係機関との連携）
2 一人一人の学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 考える力を育み、「わかった、できた、もっとやってみたい」を引き出すわくわく授業づくり ⑥ 各教科等の特質を踏まえた授業デザイン（単元計画、教材研究、思考の重視、発問の工夫を基盤とした授業づくり） ⑦ I C Tを効果的に活用した学習指導及び支援の充実 ⑧ 教科の学びを支える自立活動の指導の充実
3 キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 家庭や地域と連携した小学部からの系統的なキャリア教育の推進（O T Aキャリア教育プラン） ⑩ 地域資源を生かし、児童生徒が主体的に学ぶ教育活動の充実（O T Aぶどうプロジェクト、社会人講師の活用、作業学習の充実） ⑪ あいさつの習慣化と定着 ⑫ コミュニティ・スクールを生かした学校づくりの推進
4 地域の特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ⑬ 心のバリアフリーの実現に向けた交流及び共同学習の内容の充実 ⑭ 多様なニーズに応じた助言・援助の充実 ⑮ 関係機関や専門家との連携・協働による支援の充実 ⑯ 積極的な情報発信における児童生徒の主体性の活用（保護者、地域、学校等）
5 高い専門性と働きやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ⑰ 特別支援学校教員としての専門性向上を図る研修の充実と学びの共有（自立活動、授業改善等） ⑱ チームによる教育体制の充実（ティーム・ティーチング、情報共有） ⑲ 風通しの良い職場づくりの推進（報告・連絡・相談の徹底） ⑳ I C T等を活用した業務改善とタイムマネジメントの推進